

「第 14 回バクー日本語弁論大会開催」

10 月 10 日、バクー国立大学にて、バクー国立大学と日本大使館の主催により、第 14 回バクー日本語弁論大会が開催されました。同弁論大会には、バクー国立大学、アゼルバイジャン言語大学、アゼルバイジャン観光経営大学で日本語を学ぶ 16 名の学生が弁士として出場し、それぞれ自分で選んだテーマについて日本語で弁論を行いました。第 1 位の座に輝いたのは、バクー国立大学 3 年生のハヤル・アブドゥッラエフ氏。本大会で 1 位になったアブドゥッラエフ氏は、10 月 24 日に開催されるモスクワ日本語弁論大会にアゼルバイジャン代表として出場します。

<成績結果>

- 第 1 位：アブドゥッラエフ・ハヤル「雑誌」（バクー国立大学 3 年生）
- 第 2 位：マリコワ・ギユネル「日本が好きになった 3 つの理由」（アゼルバイジャン言語大学 2 年生）
- 第 3 位：ムラドル・リョヤ「良心」（バクー国立大学 3 年生）
- 第 4 位：スレイマンル・アゼル「正義のための武士」（バクー国立大学 3 年生）
- 第 5 位：アレクペロワ・ニギヤール「日本語の役割」（バクー国立大学 3 年生）
- 努力賞：サディゴワ・ラミヤ「精神」（バクー国立大学 2 年生）

